Creative Enzymes®

スクロースホスホリラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0684

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	スクロースホスホリラーゼ (E.C. 2.4.1.7) は、スクロースの代謝および他の代謝中間体の調節において重要な酵素です。スクロースホスホリラーゼは、ヘキソシルトランスフェラーゼのクラスに属しています。より具体的には、加水分解ではなくトランスグリコシダーゼ反□を触媒するにもかかわらず、保持型グリコシダーゼファミリーに分類されています。スクロースホスホリラーゼは、スクロースをD-フルクトースとα-D-グルコース-1-リン酸に□換する反□を触媒します。この酵素が二重置換メカニズムによってこの□換を触媒することが、複数の実験で示されています。
用途	スクロースホスホリラーゼは、安定した無臭の粉末フラノングルコシドの酵素合成を評価する研究に使用されました。スクロースホスホリラーゼは、カルボン酸化合物との新しいトランスグルコシル化反□を調□する研究にも使用されました。
別名	スクロースホスホリラーゼ; EC 2.4.1.7; 9074-06-0; スクロースグルコシルトランスフェラーゼ; 二糖類グルコシルトランスフェラーゼ; スクロース:オルトリン酸 α-D-グルコシルトランスフェラーゼ

製品情報

由来	大腸菌
形態	凍結乾燥粉末; 安定剤としてスクロースを含む。
EC番号	EC 2.4.1.7
CAS登□番号	9074-06-0
分子量	mol wt 56 kDa by SDS-PAGE
活性	> 45 ユニット/mg 固体
単位定義	1ユニットは、25°C、pH 7.6でスクロースから1.0 µmoleのD-フルクトースを□分生成し、□□するNADPのNADPHへの還元を行います。

保管・発送情報

保存方法	−20°C